

発議案第3号

健康保険証廃止とマイナンバーカード取得強制の中止を求める
意見書について

上記の発議案を別紙のとおり白井市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和5年7月11日提出

白井市議会議長 岩田 典之 様

提出者 白井市議会議員 根本 敦子

賛成者 白井市議会議員 徳本 光香

提案理由

健康保険証廃止により、任意であるマイナンバーカードの取得が実質強制となるため。また、健康保険証とマイナンバーカードの機能一体化により、別人の医療情報の誤登録などトラブルが相次いでおり、個人情報保護と命に関わる重大な問題があるため。

健康保険証廃止とマイナンバーカード取得強制の中止を
求める意見書（案）

政府は、2024 年秋に健康保険証を廃止してその機能をマイナンバーカードに組み込む方針を打ち出しました。

健康保険証廃止となれば、マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、すでに別人の医療情報の誤登録などトラブルが相次いでおり、国民皆保険制度の下で守られている国民の命と健康が脅かされます。

健康保険証廃止は、事実上のマイナンバーカード取得強制につながります。個人情報漏えいの不安から強制に反対の民意があることも事実です。法律上はマイナンバーカードの取得はあくまでも任意であり、国民への強制は行われるべきではありません。

政府がいま行うべきことは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中で、ひっ迫する医療現場の体制を拡充することです。患者や医療機関の多くが望んでいない健康保険証の廃止とマイナンバーカードの強制をただちにやめるよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年7月11日

千葉県白井市議会

意見書提出先

衆議院議長	細田	博之
参議院議長	尾辻	秀久
内閣総理大臣	岸田	文雄
総務大臣	松本	剛明
財務大臣	鈴木	俊一

厚生労働大臣 加藤 勝信
デジタル大臣 河野 太郎